

小説で大分をPR

創作活動で地域活性化

「魅力を再発見して」

大分市出身・佐久良さん

【東京支社】大分市小池原出身の佐久良マサフミ(本名・福田将史)さん(27)は東京都世田谷区だが、大分の高校生を主人公にしたオリジナル小説「耳元の鈴を鳴らさない！」(文庫判・215頁)を出版した。「小説を通して大分を盛り上げたい」と話している。

大分商業高を卒業後、俳句が数軒廃業しているのを見優を目指して上京。新聞販で「にぎわいを取り戻した売店や司法書士事務所、出い。自分にできることはな出版社で働きながら、映画やいか」と考え、大分を舞台の帰省時、実家近くの商店 思い立った。



大分を舞台にした小説「耳元の鈴を鳴らさない！」を執筆した佐久良マサフミさん

販売はインターネット上で資金を募るクラウドファンディングを利用する予定。大分出身で東京在住の友人や仕事で知り合ったイラストレーターらに声を掛け、漫画家やデザイナー、編集者ら38人が協力した。

小説は高校の映画研究部が映画製作に取り組む姿を描く青春劇。県内に実在する映画館やショッピングセンター、ファミリースタンプも実名で登場する。佐久良さんは「大分の魅力を再発見するきっかけになればうれしい。小説を使った地域活性化の取り組みはまだ珍しく、創作活動を志す中学、高校生に『こういうやり方もあるんだな』と思ってもらえれば」と話している。

小説はホームページで全文掲載を始めた。アドレスは <http://mimisuzuc.com> (逆瀬川由夏)